

カスタムするのに最高の素材
軽バン&軽トラ
最強説

究極のオマージュ!

軽カーの真骨頂といえば、なりきり系! 過去、本誌でも幾度となく、なりきり&化け軽カーを紹介してきたが、その完成度は驚くべきものがある。ビルダーのひらめき、実行力があってのオマージュだが、今月の表紙カーは、人気の軽カー同士をフュージョンさせちゃった問題作! 作ったのは、あのハイエース専門店ってんだから要注目!!

元々の計画はコレ!
その名も
ジムキャリー
が、頓挫して
ジムリイに方向転換!!



上のイラストは昨年11月号に掲載され、全国のジムニー&キャリーファンを狂喜乱舞させた「ジムキャリー」の完成イメージ。いざ製作に取りかかってみると、ボンネットの出幅のなさという構造的な問題や、「コレ、どれだけ売れんだろ……?」というオトナの事情もあり(笑)、箱バンのエブリイにベースを代え、見事「ジムリイ」として有言実行を果たす(写真右)。エブリイならバンでもワゴンでも取り付けOK。もちろん、OEMモデルとなる日産クリッパー/クリッパーリオ、マツダ・スクラムバン/ワゴンにも装着可能なのだ。



このへんの角度から見ると、タイヤ&ホイールを替えて、ちょっと車高を上げて、リアバンパーを黒塗りしたエブリイにしか見えない(笑)。交換したフロントフェンダーとプレスラインのそり具合が抜群の一体感を生む。



荷室スペース確保のためフロントの出幅を極力抑えた絶壁顔のエブリイを父に、丸目ライトがレトロモダンなジムニーを母に、この世に生を受けたジムリイ。大のオトナが真剣に2台で遊んだ結果だけに、作りのよさにハンパは微塵もない。

いまだ納車1年待ちと言われる超人気者 JB64ジムニーにバンが 新たにラインナップ???

どリーマルの
JB64ジムニー



T・S・Dスタイリングの長谷川代表、またの名を「はしえら」は、3度のメシよりハイエースが好きなオトコだ。だが、スズキの軽だけは別腹らしく、新型ジムニーシエラを本誌誌上でイジくりまくってみたい(不定期連載中!)、トラックのキャリーをベースにしたD'sピック、はたまた軽バン・エブリイをベースとしたバブリー、シャコタンにしたハスラーなど、精神的にベースカーを大变身させている。そう、ひたすら男臭さが漂う。遊べる軽、だけを一途にもって遊んでいるのだ!!

さて、元号がまだ平成だった昨年11月に時を巻き戻そう。そのころのはしえら、サンは、出たばっかのJB74ジムニーシエラとDA16TキャリーベースのD'sピックにムチューだったそう。そこでカツとカレーでカツカレーが、あんことバターでおバタ餡サンド(朝ドラネタっす)が生まれたよーに、ジムニー顔したキャリー、その名も「ジムキャリー」(映画「マスク」の主演俳優かよっ!)のアイデアがアタマの中でひらめいた。いつものはしえら、サンならば、その場のイキオイだけでパーツと実車化に踏み切っちゃうのだが、令和の時代となったはしえら、サンは冷静だった。「こんだけトリッキーなキャリーを作ってみたらどうで、果たしてどんだだけ売れるんだろ……」

そこでT・S・Dの経営トップらしく、ちょっとばかり軌道修正。キャリーよりもタマ数の多いDA17エブリイに現行ジムニーの顔を合わせる「ジムリイ」へと企画変更することに。そこから製作期間たった3か月でカタチになった現車は、スズキのコンセプトカーかと思えるほどにジムニーらしさがない!!

では、エブリイをジムリイにするために、何をどーしたのか? 具体策を4つに分けてご説明いたしましょう。

まずは、ボンネット。ジムニーのソレはフェンダー側まで広がっていて、上からスッポリとフタをしたよーなカタチとなっている。「ここがジムニーらしさのキモ! トロ! 上ロース!!」と感じた、はしえら、サン。しかし、あまりにも寸足らずなエブリイのフロントセクションで、「サイドにまでボンネットを広げるのは無謀かも……」と、ココは勇気ある撤退を決意。それでもボンネットが別構成に見える絶妙なスタイリング、Aピラー付近にある2連ダクトなどは本家を完コピし、第一関門突破に成功だ。続いてはグリルだが、これはカタを新



T.S.D Styling JIMRY

- ベースカー/エブリイ JOINターボ '19年型
 - 協力/T.S.Dスタイリング ☎045-342-7757 www.t-style08.com
 - Special Thanks/S2レーシング、pdc_designworks/product_c
 - 撮影協力/イエローハット新山下店
 - PHOTO/南井浩孝
 - TEXT/佐藤アキオ(rsf)
- 本誌デビューは来年初頭の東京オートサロンを予定しており、市販化はその後となりそう。コンプリートカー販売はもちろん、パーツ販売も予定しているの、エブリイオーナーには朗報だ。こんなごちそうを作ってくれて、はしえら、パイセン、あさまっす!
- 最後の見せ場となるバンパーは、JB74シエラの形状を土台にサイドの角度を変えたり、下部を大型のスキッドプレート風に見せたりして、もの見事にジムリイへとゴールイン。
- 本誌デビューは来年初頭の東京オートサロンを予定しており、市販化はその後となりそう。コンプリートカー販売はもちろん、パーツ販売も予定しているの、エブリイオーナーには朗報だ。こんなごちそうを作ってくれて、はしえら、パイセン、あさまっす!



ホイールは人気の鉄ちゃんタイプ!

武骨さのアピールは、CLSの鉄ちゃんホイールTC01 (16×6J IN35) とトヨタ・オープンカントリー (165/60-R16) にお任せだ。黒バンパーの商用スタイルに、このシンプルさがまたドンハマりしちゃうのだ。



T.S.Dの真骨頂“ちょいアゲ”!!

ジムニーらしさを加える秘策として、N2レーシング製リフトアップコイルを投入する。3~4cmくらいのマイルドな車高上げになるので、ショックの交換やステアリングシャフトなどを加工する必要ナシ!



ジムニー

フロントグリルの端っこが、ナナメにカットされるあたりも忠実にジムニーを完コピ。しかし、なんでもかんでも一緒ってことはなく、フォグランプスペース下の傾斜角は、ジムリーのほうの角度をゆるくして、全体のバランスを整えてたりして!

本誌では“はしゅら〜”でおなじみ、T.S.Dスタイリングの長谷川代表。来年のオートサロンには今回のジムリーのほかに、もっとめかし込んだ別バージョンのジムリーも持ち込むそう。ひょっとして来ますな、来年はジムリーブームの波が!



ジムリー



1 エブリイの顔は、ジムニーより10cmほど“面長”になる。そのぶんヘッドライトの位置も高くなるが、そんなこと全然気にならないくらい収まりがいい! 2 ボンネット、左右フェンダー、バンパー、コアサポートを交換。デモカーは純正グリルにしたが、他社製アフターパーツを付けるもよし。3 ボディサイドに届かないとはいえ、ジムニーっぽさを存分に発揮するボンネット。実車より大きさに表現したプレスライン 4 バンパーコーナーには、フォグの取り付けも可能。5 バンパーのデザインは、実はシエラ用を参考にしている。

軽バン&軽トラ
ココが最強!!

どこからどう見ても
ジムニー顔に整形!!



スライドドア+広いキャビンで
ジムニーより使い勝手が向上した
“ジムニーバン=ジムリー”

Theory
01

T.S.D Styling
JIMRY

